

いいたて希望の里学園

校歌「孤高の星」

日曜日
4/5
開校式

作詞 黛 まどか
作曲 南こうせつ
編曲 平林 龍

阿武隈の風に応えて、清らかにほころぶ山百合
孤高の花は、まぎれず香る
そんなふうには私は生きてゆく
うれしい日も、泣いた日も、いつも君が、家族がそばにいた
希望の里いいたて、美しい村 飯館
ままでに花を咲かせよう

阿武隈の秋の夜空に、ひとつ星ひときわ煌めく
孤高の星は、離れて光る
そんなふうには私は生きてゆく
さびしい日も、笑う日も、いつも君と、心は共にある
希望の里いいたて、美しい村 飯館
ままでに灯しつづけよう

阿武隈の降り積む雪の、凍る野に根を張るけやきよ
孤高の幹は、揺るがずに佇つ
そんなふうには私は生きてゆく
別れた日も、泣いた日も、いつも君は、ふるさとを待ってた
希望の里いいたて、美しい村 飯館
ままでに歩みつづけよう

あたらしい一歩をふみだそう

胸を張って 夢を語ろう

義務教育学校「いいたて希望の里学園」が誕生します